

3  
月

定期議会

## 東日本大震災継続復興の

## 重点予算を可決

3月定例議会が3月1日に開会し、8日、9日に代表質問（6人）、12日、13日に一般質問（10人）、22日に議案審議が行われました。開会では、村長から「昨年度は復旧復興を優先

したため、今年度が第5次総合計画の本格スタート」などと施政方針が説明され、議案審議では、7議案に対し延べ15人の議員が討論するなど活発な審議が行われました（14ペー

また、14516日、  
日には、平成24年度予  
算についての予算特別  
委員会（鈴木昇委員長）  
が行われ、村税が対前  
年度比9億3000万  
円減となる理由や、災  
害時避難場所であるコ  
ミュニティセンターへ

ミユ二ティセンタリへの井戸や発電機の設置について質問しました

する「東海村復興まちづくり支援基金の設置、管理及び処分に関する条例」、復興交付金事業等に要する経費に充てるための基金を創設する「東海村東日本大震災復興交付基金基

本大震災復興交付金基  
金の設置、管理及び処  
分に関する条例」など

確保に対する調査を目的に、議長を除く全議員（19人）で構成。  
委員長：豊島寛一議員  
副委員長：武部慎一議員

◆東海村東日本大震災復興交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例

南台団地と緑ヶ丘住宅団地を対象とする造成宅地滑動崩落緊急対策事業のための基金を創設するためにして制定するもの。

◆東海村復興まちづくり支援基金の設置、管理制度及び処分に関する条例

◆東海駅西口に駐車場を設置する条例を可決及び管理に関する条例を創設するためには、このようにして、この問題を解決するもの。

## ●村長提出議案等

今回は、住民生活の

## 原子力問題調査特別委員会を設置

## 南台団地等の造成宅



(写真右) 3月定例議会  
(下) 平成24年度予算特別委員会



子力施設の安  
全性向上に關  
する請願1件、  
造成宅地の滑  
動崩落被害の  
復旧に関する  
請願1件、陳  
情1件が提出  
されました。  
(裏表紙参照)。

正予算11件、一般会計などの平成24年度予算11件、工事請負契約関係2件、阿漕ヶ浦公園の指定管理者の指定、公の施設の広域利用に関する協議、合計35件の議案について慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

住民生活の安定や地域コミュニティの再生、地域経済の活性化など、復興のまちづくりを推進するため、県支出金（市町村復興まちづくり支援事業費交付金）を財源とし、新たに基金を創設するための条例を制定するも

